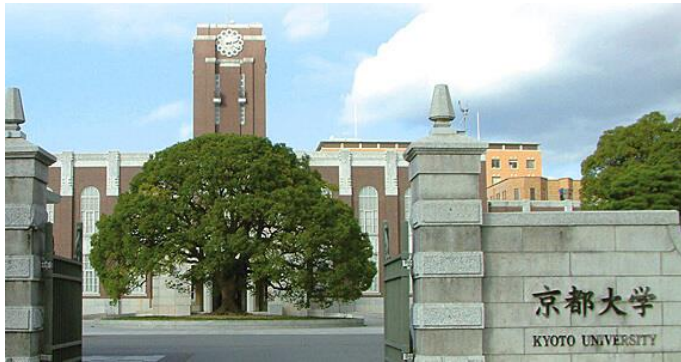


# 人文学への誘い

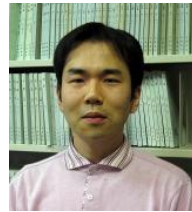
## 京都大学人文科学研究所協力講座

京都大学人文科学研究所は、戦前に設立された東方文化研究所、西洋文化研究所と、旧京都大学人文科学研究所が合併し、1949年に京都大学の附置研究所として設置されました。アジア、ヨーロッパ、日本の文化に関する長い研究伝統を活かし、世界文化に関する総合的研究を行うことを使命とする、国内最大級の人文科学系研究機関です。本協力講座では、講師陣が世界や日本の文化を専門分野から語ります（有料）。



### 中国共産党の成立・発展と煩悶青年

講師 京都大学人文科学研究所助教 森川裕貴  
日時 1月20日(土) 10:30~12:00



中国共産党は、人生に迷える青年たちが作った！！——語弊は免れませんが、それほど間違った言い方ではないかもしれません。現在、約9000万人の党員を擁する中国共産党は、その創設当初、50名あまりで構成される小さな集団に過ぎませんでした。しかし、共産党はその後の数年間で規模を急速に拡大し、今日にまで続く中国統治の礎を築いていくこととなります。その要因として、この講義では1920年代の中国に見られた煩悶青年の存在に着目します。煩悶青年の加入こそ党躍進の理由の一つだったと推測されますが、それはなぜ煩悶青年は共産党に引きつけられたのか、そもそも煩悶青年は何に煩悶していたのかについて、考えてみたいと思います。

### 富岡鉄斎が描く「国史」 嵯峨の古典文学・南朝史跡・赤穂義士・天皇陵

講師 京都大学人文科学研究所所長 高木博志  
日時 2月3日(土) 15:00~16:30



富岡鉄斎(1836~1924)は、若き日に尊攘派の志士と交わり、維新後には大鳥神社大宮司をつとめました。鉄斎自身はまず南画家より学者であるとの自意識で、「万巻の書を読み、万里の路を行く」ことを志しました。また明治中期から大正期に、嵯峨の祇王寺、小楠公を弔う宝篋院を復興し、神武天皇や歴代天皇陵、吉野・河内長野などの場、楠正成・赤穂義士らの忠臣義士などを顕彰します。こうした活動は、近代における政府の政策や社会の動きとかかわっていました。明治10年大和行幸において、鉄斎は、「堺県行幸道筋官幣大社御陵位置図巻」や「堺県行在所御飾付図巻」を描きますが、同時に明治天皇の蘭奢待(香木の王様)の剪り取り、中国由来の煎茶や古物趣味、文人世界をプロデュースしたのです。鉄斎の絵画には、彼の「国史」像が反映していたことを考えます。

### 劉邦の「斬蛇剣」 漢王朝の宝剣の伝説とそのゆくえ

講師 京都大学人文科学研究所助教 目黒杏子  
日時 3月7日(水) 13:00~14:30



紀元前3世紀末の中国で、始皇帝のつくりあげた秦帝国の打倒にたちあがった群雄のひとり、後に400年に及ぶ歴史をもつ漢王朝の初代皇帝となり、高祖と仰がれる劉邦です。歴史書『史記』は劉邦の戦いを生き生きと描いていますが、その中に、劉邦が道を塞いでいた大蛇を斬ったところ、神秘的な現象が起こったというエピソードがあります。この大蛇を斬った剣は、後に「斬蛇剣」と呼ばれ、漢王朝の皇帝の権威を象徴する宝剣として伝えられます。「斬蛇剣」とその伝説が生まれたわけを、漢王朝の歴史からひもとくとともに、さらに漢王朝が滅びたあとも人々の心に残り、生まれた新たな伝説の正体を読み解きます。



朝日カルチャーセンター | 京都  
朝日JTB・交流文化塾

<https://www.asahiculture.jp/kyoto>

〒604-8005 京都市中京区河原町三条上ル  
京都朝日会館 8階  
TEL 075-231-9693

朝日カルチャー 京都

検索

## 京都教室の窓口 (京都朝日会館8階)

月～土曜 午前9時30分～午後6時30分

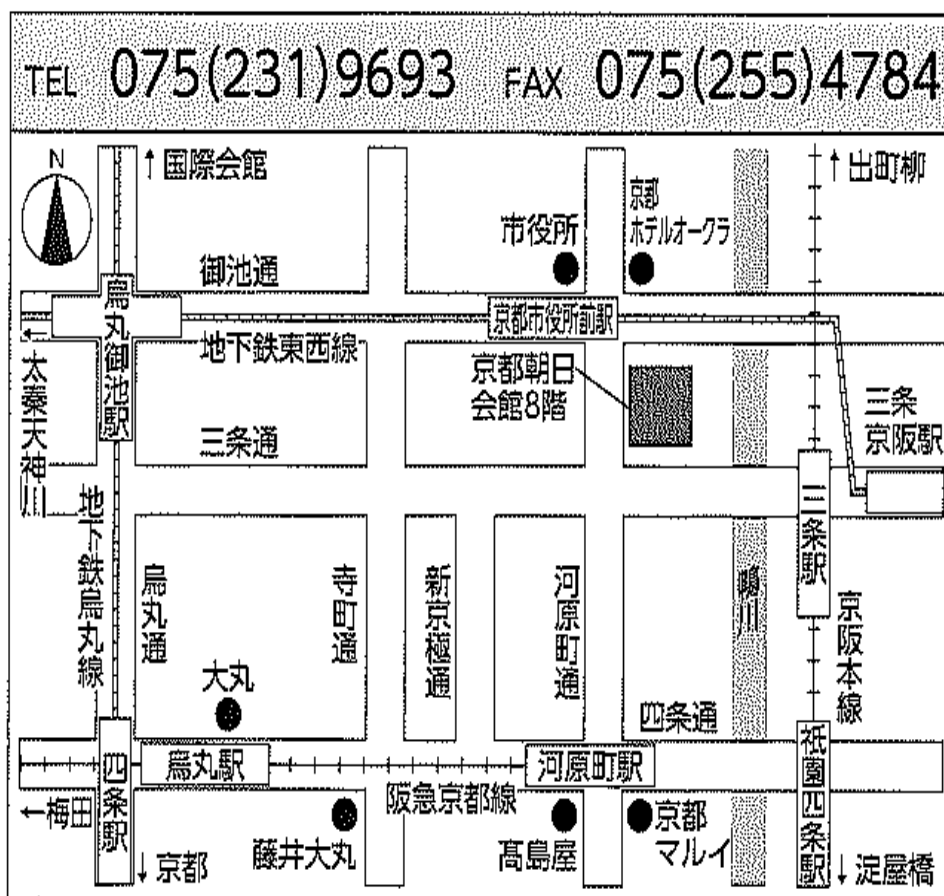
※1月4日(木)のみ 午後1時～午後6時30分

日曜は 午前9時30分～午後2時

12月29日(金)～2018年1月3日(水)は休館致します。

祝日(振替休日を含む)は原則として休館

※ただし、2017年12月23日、2018年2月12日は祝日営業致します。



〒604-8005

京都市中京区河原町三条上ル 京都朝日会館 8F

### 《交通アクセス》

- ▼JR 京都駅前から市バス A2 乗り場で[4] [205] [快速 205] [17]で河原町三条下車すぐ
- ▼阪急四条河原町から北へ徒歩 8分
- ▼京阪三条(出口⑦が便利)から西へ徒歩 5分
- ▼地下鉄京都市役所前駅(出口①が便利)から南へ徒歩 3分